

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

公式 YouTube



公式YouTubeチャンネルを開設しました！ぜひチェックをお願いします！

公式 Instagram



「学校のネタ帳」をテーマに長崎の学校の話をお届けしています

2026年度導入

「宇久高校 離島留学制度」スタート

宇久高校で県内6校目となる「離島留学制度」が2026年度から導入されます。島の豊かな自然とDXなど最先端技術を組み合わせた県内に今までにない新たな学びを取り入れ、科学的思考力を備えた人材を育成します。

名称 普通科～Ukuサイエンスパーク～

募集人数 5人程度

特色

- 現在の普通科の学びにSDGsの視点を取り入れた、自然科学分野を柱とした探究型学習
- 企業・大学・地元などの外部機関と連携した、新たなカリキュラムの導入
- 生徒のキャリアプランに応じた少人数個別指導

佐世保市との連携

- ホームステイ先であるしま親および留学生に対する経済的支援など

離島留学制度ホームページ



宇久高校ホームページ



Ukuサイエンスパーク構想 ～海も陸も学びのキャンパス～

ランドパーク

- ・自生植物研究（絶滅危惧種）
- ・牛ふんを活用した肥料づくり など

スペースパーク

- ・宇宙空間における光通信技術の学び
- ・ドローン技術の学び など

探究活動イメージ

自然科学 DX 環境 ふるさと

企業

- ささばパール・シー株式会社（九十九島水族館）
・ウミガメの産卵調査や海洋プラスチック問題研究
- 株式会社堀場アドバンスドテクノ
・小惑星から採取した試料の分析技術についての学び
・水質の計測・分析技術の学び
- ソニー スペース コミュニケーションズ コーポレーション（米シリコンバレー）
・オンラインを活用した宇宙空間における光通信技術の学び
- ドローン技術の学び

市

- 佐世保市水産センター
・赤ウニの飼育研究

大学

- 長崎大学・水産学部
・マイクロプラスチックの海洋生物への影響調査
- 九州大学・工学研究院
・海岸環境問題研究

地域

- 地域塾による新たな自分発見プログラム
・自生植物（絶滅危惧種）などの調査研究
- ・農業、畜産等体験活動
- ・鯨と海士（あまなし）の歴史研究
- ・マリンアクティブ体験（シーカヤック等）など

水中に眠る歴史の痕跡 長崎の水中遺跡

水中遺跡とは海底や海岸、河川や湖の水底にある遺跡のこと。県内では鎌倉時代の「元寇」を物語る松浦市の「鷹島海底遺跡」が有名です。発掘調査によって「てつはう」など多くの遺物が引き揚げられており、2024年10月には3隻目となる元軍の沈没船が確認され大きな注目を集めています。このほか小値賀町の前方湾海底遺跡では鎌倉時代に輸入された陶磁器、新上五島町の青方沖、祝言島の周辺では「いかり石」が見つかっています。多くの歴史を物語る水中遺跡に今後も注目。



鷹島海底遺跡引き揚げ遺物『てつはう』（松浦市教育委員会提供）

祝言島の「いかり石」調査風景（長崎県埋蔵文化財センター）

シンポジウム 「モンゴル襲来」と海之路

日時 2月15日(土)13時30分開始(13時受付開始)

※事前申し込み不要(定員180名)

場所 平戸市たびら活性化施設ホール

鷹島海底遺跡調査から元軍の実態を示すさまざまな成果が得られ、さらに鷹島への航路上の島々の水中遺跡からも船の往来を示す痕跡が見つかっています。これらの成果を比較しながら、元の軍船がたどった航路について専門家を交えたシンポジウムを開催します。

【問い合わせ先】 長崎県教育庁学芸文化課 095-894-3384

林田先生ってどんな先生？

民間団体での勤務や他地域での臨時採用を経て教師に。2024年の秋の大祭、長崎くんちでは五嶋町の龍踊（じゃおどり）に龍衆として出演しました。

先生のリフレッシュ方法

昨年入籍した妻や大切な人たちとおいしい食事やお酒を味わったり、県外へドライブへ出かけたりすること。

Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは
長崎市立桜馬場中学校の
林田雄介先生

地域の魅力を生徒にも伝えたい

教員を目指したきっかけは？

父親が高校の教員だったので、昔から教職に憧れがありました。中学時代にたくさんの良い先生や友人たちに恵まれ、充実した学校生活を過ごすことができたこと、生まれ育ったふるさと長崎に教員として恩返ししたいと思ったことなどがきっかけです。

この仕事に就いて良かったと思うとき

生徒の成長を間近で感じられること。私は初任で本校に赴任し、現在担任している生徒たちとは入学時から一緒に過ごしてきました。日に日にたくましく成長する姿を3年間も見られていることはとても幸せなことです。2カ月後の卒業式が楽しみでもあり、やっぱり寂しくもあります。

仕事と長崎くんちの両立について

地域に貢献しようとする生徒たちの影響もあり、くんちに出ることを決意。仕事との両立は大変でしたが、家族や周りの先生方のサポートがあったからこそ、やり遂げることができました。稽古の時から奉納踊り本番、庭先回りまで生徒たちが応援に来てくれ、本当にうれしかったです。